

高知県感染症発生動向調査（週報）

2016年 第2週 （1月11日～1月17日）

★お知らせ

○感染性胃腸炎に気を付けて！

定点医療機関当たりの報告数は第1週の9.97から第2週では9.10とほぼ横ばいですが、幡多、高知市で増加し、幡多、須崎で注意報値を超えています。また、定点医療機関からのホット情報ではカンピロバクター感染症が1例、ノロウイルスが37例、ロタウイルスが6例報告されています。学校欠席者情報収集システムでは66例と急増し、病原体検出情報ではNorovirus GII NTが検出されています。

毎年この時期からノロウイルスなどの感染性胃腸炎の報告数が増えてきます。この病気は腹痛、嘔吐、下痢、発熱を主な症状とし、冬場に流行する代表的な感染症です。乳幼児に好発し、1歳以下の乳児は症状の進行が早いのが特徴です。37～38℃の発熱がみられることもあります。年長児では吐き気や腹痛がしばしばみられます。特にノロウイルスを原因とする場合、学校や社会福祉施設など集団生活の場で大規模な流行となることもあり注意が必要です。予防法で最も大切なのは手洗いです。排便後、また調理や食事の前には石けんと流水で十分に手を洗いましょう。

感染症予防の基本は、

★★★手洗いから★★★

調理時や食事前、トイレの後は石けんと流水でしっかり手を洗いましょう。

○マイコプラズマ肺炎に気を付けて！

第2週は基幹定点から5例、定点医療機関からのホット情報で3例、学校欠席者情報収集システムでは12例の報告がありました。

マイコプラズマ肺炎の定点当たりの報告数が8月上旬から増えています。10月上旬からはホット情報でも報告数が増加していますので注意しましょう。

マイコプラズマ肺炎の発生動向とその予防対策

マイコプラズマ肺炎は、肺炎マイコプラズマ(*Mycoplasma pneumoniae*)という細菌によって引き起こされ、激しい乾いた咳、発熱、全身倦怠感が主な症状で、学校、幼稚園、保育園、家庭等で地域的に集団発生すると言われています。好発年齢は、6～12歳の小児であり、小児では発生頻度の高い感染症の一つです。潜伏期は2～3週間とされ、飛沫で感染します。異型肺炎像を呈することが多いです。頑固な咳嗽と発熱を主症状に発病し、中耳炎、胸膜炎、心筋炎、髄膜炎などの合併症を併発する症例も報告されています。重症肺炎となることもありますので注意が必要です。予防方法としては、手洗い・うがい・マスクの着用による一般的な予防方法の励行と早期の医療機関受診を心がけてください。

○A群溶血性レンサ球菌咽頭炎に気を付けて！

定点医療機関からの報告数は第1週の1.77から第2週では1.93とほぼ横ばいですが、高知市、安芸、中央東で増加しています。

全国では過去5年間の同時期と比較してかなり高い値が続いており、引き続き注意が必要です。

通常、患者との接触を介して伝播するため、ヒトとヒトとの接触の機会が増加するときに起こりやすく、家庭、学校などの集団での感染も多くなります。乳幼児では咽頭炎、年長児や成人特に妊婦では扁桃炎が現れ重症化することもあるため、うがい、手洗いなどの一般的な予防法を励行しましょう。

○インフルエンザに気を付けて！

定点医療機関からの報告数は第1週の0.44から第2週の0.63と増加しています。高知市、中央西、須崎で増加しています。迅速検査ではインフルエンザA型80.8%、B型19.2%となっています。感染力が大変強いので今後も手洗い、うがい及び咳エチケットの感染予防をしてください。

インフルエンザを予防しましょう

これからの時期は、気温が低い状態が続くとともに空気も乾燥し、インフルエンザウイルスが活動しやすい時期となります。

第2週はインフルエンザ定点医療機関からインフルエンザA型21例、インフルエンザB型5例の報告がありました。インフルエンザの流行期は、例年12月下旬～3月頃です。

予防対策

※発熱や咳などのインフルエンザ様症状のある方は、マスクを着用し、まわりの方にうつさないよう咳エチケットを心がけましょう。

※外出が必要な場合には、人混みは避け、外出後は手洗いを徹底しましょう。マスクを着用することは防護策の一つと考えられます。

※呼吸器、循環器等に慢性疾患を持つ方や妊婦は重症化する例もありますので、積極的に感染予防を心がけましょう。

※インフルエンザ様症状と思われる場合は、早めに医療機関を受診しましょう。

マダニの感染症(日本紅斑熱・SFTS・つつが虫病)、冬でも注意!

日本紅斑熱1例の届け出がありました。

これらの感染症はマダニが媒介する感染症です。

マダニの活動が盛んな時期は春から秋ですが、今回のように冬期でも患者の発生がみられることがあります。

感染予防にはマダニに噛まれないようにすることが重要です。

森林や草むら、藪など、マダニが多く生息する場所に入る場合には、長袖・長ズボンを着用し、シャツの裾はズボンの中に入れ、ズボンの裾は靴下や長靴の中に入れる等、肌の露出を少なくし、マダニ用の忌避剤を使用する等して、マダニに噛まれる事を予防して下さい。

マダニに噛まれた場合も痛みがなく気がつかない場合が多いといわれています。

マダニは、人や動物に取りつくとき皮膚にしっかりと口器を突き刺し、数日から10日間以上かけて吸血します。

吸血中のマダニを無理に引き抜こうとすると、マダニの体液が逆流したり、マダニの一部が皮膚内に残って化膿する場合がありますので、医療機関を受診し、処置してもらってください。

発熱等の症状がでたとき

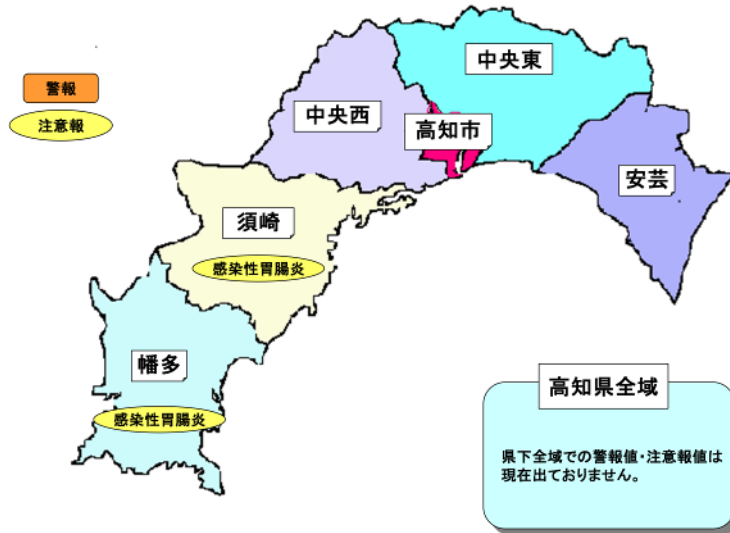
野山に入ってからしばらくして(数日～2週間程度)発熱等の症状が出た場合、医療機関を受診して下さい。また受診の際、発症前に野山に立ち入ったこと(ダニに刺されたこと)を申し出て下さい。

★県内での感染症発生状況

定点把握感染症 (上位疾患)  : 急増  : 増加  : 横ばい  : 減少  : 急減
2週 (1月11日～1月17日)

疾病名	推移	定点当たり報告数	県内の傾向
感染性胃腸炎		9. 10	幡多、高知市で増加し、幡多、須崎で注意報値を超えています。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1. 93	高知市、安芸、中央東で増加しています。
RSウイルス感染症		0. 70	中央西、幡多で増加しています。
流行性耳下腺炎		0. 70	中央東で増加しています。
インフルエンザ		0. 63	高知市、中央西、須崎で増加しています。

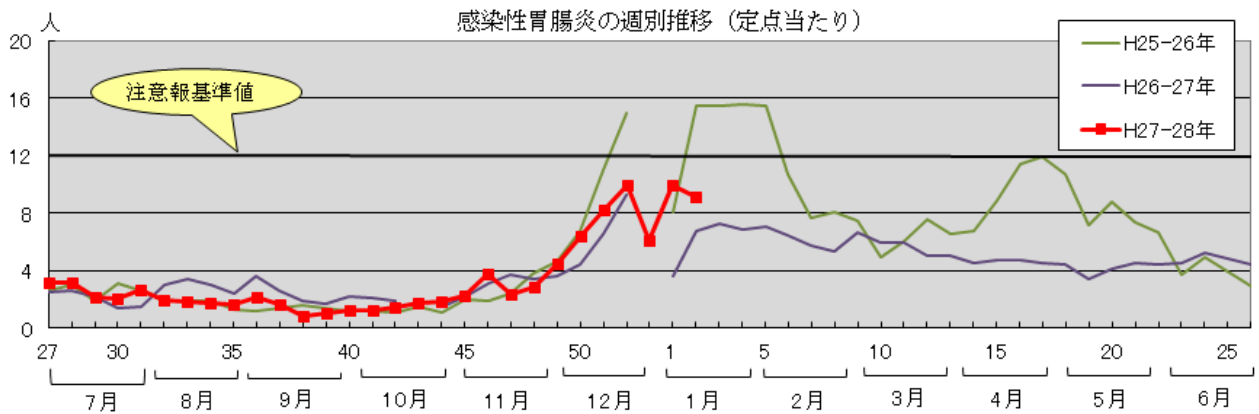
★地域別感染症発生状況



★気をつけて！

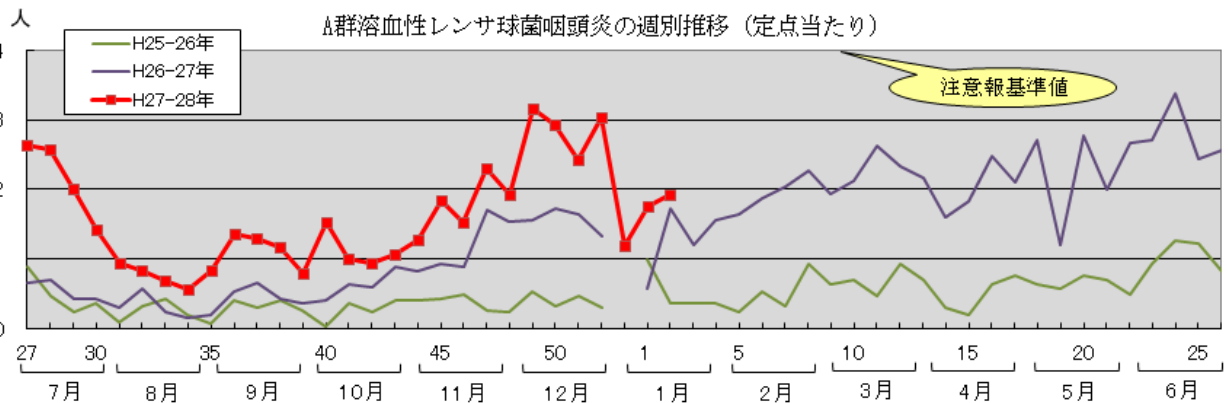
○**感染性胃腸炎 第2週：9.10** (注意報値：12.00 警報値：20.00)

定点医療機関からの報告数は定点当たり9.10(前週:9.97)とほぼ横ばいです。地域別にみると、幡多14.80(前週13.20)、高知市10.18(前週9.36)で増加し、幡多、須崎で注意報値を超えています。



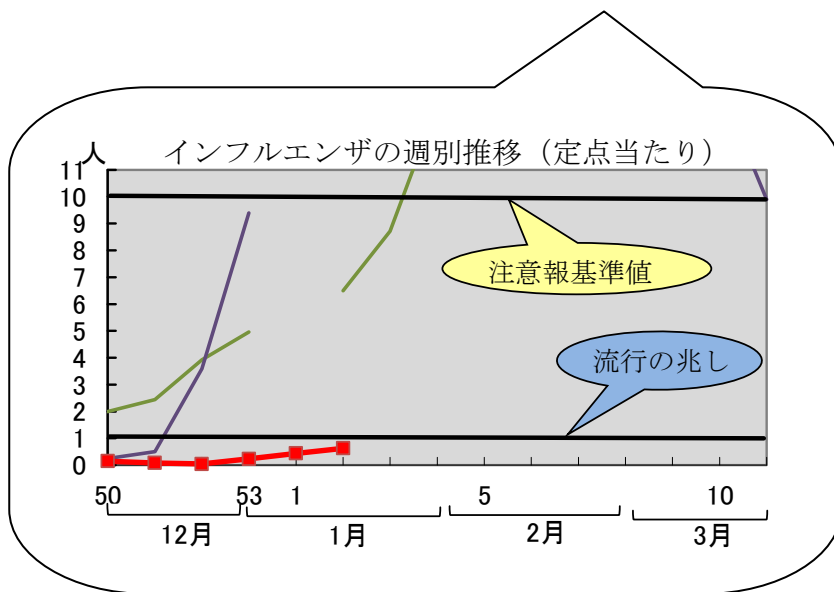
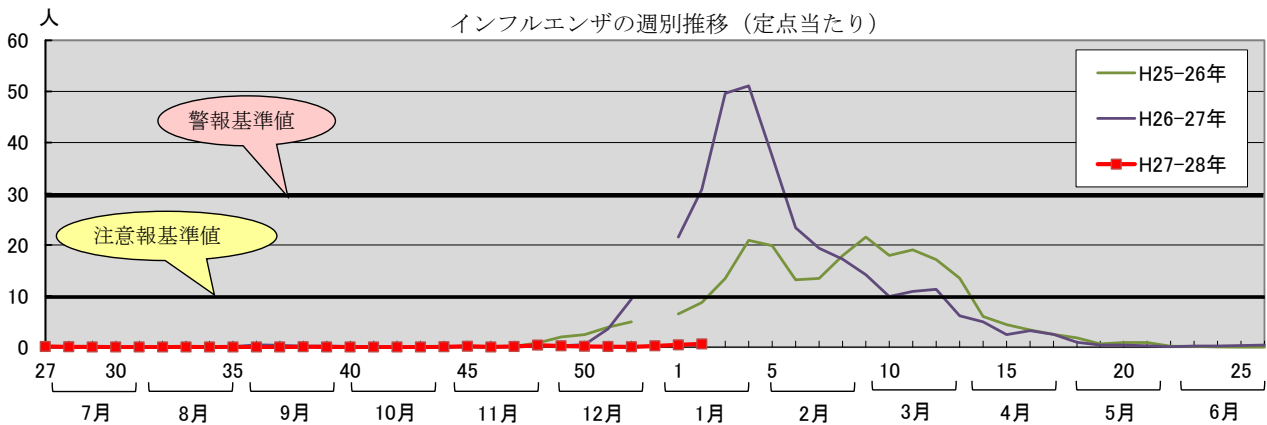
○**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 第2週：1.93** (注意報値：4.00 警報値：8.00)

定点医療機関からの報告数は定点当たり1.93(前週1.77)とほぼ横ばいです。地域別にみると、高知市3.18(前週2.73)、安芸2.50(前週1.50)、中央東1.14(前週0.43)で増加しています。



○インフルエンザ 第2週：0.63（注意報値：10.00 警報値：30.00）

定点医療機関からの報告数は定点当たり0.63（前週0.44）と増加しています。地域別にみると、高知市1.19（前週0.88）、中央西0.80（前週0.20）、須崎0.50（前週0.00）で増加しています



※グラフの途切れについて

H27-H28年は第53週までであるため、今週よりグラフ横軸に第53週を挿入しています。そのため、H25-H26年とH26-H27のグラフ第52週～第1週間に途切れが生じています。

★病原体検出情報

受付週	臨床診断名	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
2	感染性胃腸炎	11	男	須崎	Norovirus GII NT

前週以前に搬入

受付週	臨床診断名	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
52	咽頭結膜熱	2	女	幡多	Human herpes virus 7
1	腸重積	1	男	中央東	Adenovirus 2
1	不明発疹症	2	男	須崎	Human herpes virus 7
1	不明発疹症	3	男	須崎	Human herpes virus 7
1	感染性胃腸炎	1	男	高知市	Norovirus GII NT
1	感染性胃腸炎	1	女	中央東	Norovirus GII NT
1	川崎病疑い、蕁麻疹	2	男	中央東	Coxsackievirus A14

★全数把握感染症

第2週

類型	疾病名	件数	累計	内容	保健所
2類	結核	1	3	70歳代男	高知市
4類	日本紅斑熱	1	1	70歳代男	安芸
5類	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1	1	80歳代女	高知市
		1	2	80歳代男	

★定点医療機関からのホット情報

保健所	医療機関	情報
中央東	あけぼのクリニック	RSウイルス感染症2例（1歳男、2歳女）
高知市	けら小児科・アレルギー科	アデノウイルス扁桃炎1例（3歳男）
		带状疱疹1例（5歳女）
	細木病院小児科	ロタ5例（1歳女、2歳男、3歳男2人、4歳女）
		ノロ2例（1歳男女）
	福井小児科・内科・循環器科	インフルエンザA型4例 予防接種歴（-）
		感染性胃腸炎（+）小児から大人まではやっている
	三愛病院小児科	アデノウイルス感染症1例（15歳男）
	高知医療センター小児科	病原性大腸菌3例（1ヶ月男、2ヶ月男、7歳男）
		カンピロバクター1例（5歳女）
		ロタウイルス1例（2歳男）
ノロウイルス6例（11ヶ月女、1歳男女、2歳女、3歳女、7歳男）		
中央西	石黒小児科	マイコプラズマ肺炎2例（4歳女、5歳女）
	日高クリニック	带状疱疹1例（64歳女）
	くぼたこどもクリニック	感染性胃腸炎1例（6歳女：津野町）
須崎	もりはた小児科	感染性胃腸炎ノロ陽性16例
		水痘2例はワクチン未接種
	大西病院小児科	ノロ1例（1歳男）
幡多	幡多けんみん病院小児科	ノロ陽性9例
	こいけクリニック	マイコプラズマ肺炎1例（6歳）
	さたけ小児科	ノロウイルス（+）3例（1歳男、8歳女、9歳女）
		ヘルペス歯肉口内炎1例（2歳女）

★全国情報

第52週（12月21日～12月27日） 第53週（12月28日～1月3日） 合併号

1類感染症：報告なし

2類感染症：結核372例

3類感染症：コレラ1例、細菌性赤痢2例、腸管出血性大腸菌感染症12例、腸チフス1例

4類感染症：E型肝炎10例、つつが虫病25例、デング熱3例、マラリア1例、レジオネラ症17例、レプトスピラ症1例

5類感染症：アメーバ赤痢19例、ウイルス性肝炎5例、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症17例、急性脳炎5例、クロイツフェルト・ヤコブ病3例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症6例、後天性免疫不全症候群21例、侵襲性インフルエンザ菌感染症7例、侵襲性髄膜炎菌感染症2例、侵襲性肺炎球菌感染症60例、水痘（入院例に限る）4例、梅毒51例、播種性クリプトコックス症2例、破傷風1例

報告遅れ：E型肝炎1例、エキノコックス症1例、つつが虫病4例、日本紅斑熱1例、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症15例、急性脳炎4例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例、水痘（入院例に限る）4例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症2例、薬剤耐性アシネトバクター感染症1例

.....

高知県感染症情報(58定点医療機関)

第2週 平成28年1月11日(月)～平成28年1月17日(日)

高知県衛生研究所

定点名	疾病名	保健所	第2週					計	前週	全国(1週)	高知県(2週未累計)		全国(1週未累計)
			安芸	中央東	高知市	中央西	須崎				幡多	H28/1/4～H28/1/17	
インフルエンザ	インフルエンザ		3	19	4	2	2	30 (0.63)	21 (0.44)	9,964 (2.02)	51 (1.06)	9,964 (2.02)	
小児科	咽頭結核熱			2				2 (0.07)	2 (0.07)	1,696 (0.54)	4 (0.13)	1,696 (0.54)	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	5	8	35	3	1	6	58 (1.93)	53 (1.77)	6,771 (2.16)	111 (3.70)	6,771 (2.16)	
	感染性胃腸炎	13	43	112	7	24	74	273 (9.10)	299 (9.97)	24,300 (7.74)	572 (19.07)	24,300 (7.74)	
	水痘			2	1	2	6	11 (0.37)	15 (0.50)	2,736 (0.87)	26 (0.87)	2,736 (0.87)	
	手足口病							()	()	164 (0.05)	()	164 (0.05)	
	伝染性紅斑		1	1	1			3 (0.10)	8 (0.27)	2,610 (0.83)	11 (0.37)	2,610 (0.83)	
	突発性発疹		2	3	2			7 (0.23)	7 (0.23)	1,239 (0.39)	14 (0.47)	1,239 (0.39)	
	百日咳							()	1 (0.03)	41 (0.01)	1 (0.03)	41 (0.01)	
	ヘルパンギーナ							()	()	45 (0.01)	()	45 (0.01)	
	流行性耳下腺炎		5	14	2			21 (0.70)	22 (0.73)	3,771 (1.20)	43 (1.43)	3,771 (1.20)	
RSウイルス感染症		8	9	2		2	21 (0.70)	28 (0.93)	3,630 (1.16)	49 (1.63)	3,630 (1.16)		
眼科	急性出血性結膜炎							()	()	9 (0.01)	()	9 (0.01)	
	流行性角結膜炎							()	()	689 (1.01)	()	689 (1.01)	
基幹	細菌性髄膜炎							()	()	10 (0.02)	()	10 (0.02)	
	無菌性髄膜炎			1				1 (0.13)	()	15 (0.03)	1 (0.13)	15 (0.03)	
	マイコプラズマ肺炎			2			3	5 (0.63)	6 (0.75)	429 (0.91)	11 (1.38)	429 (0.91)	
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)			1				1 (0.13)	2 (0.25)	9 (0.02)	3 (0.38)	9 (0.02)	
	感染性胃腸炎			7				7 (0.88)	3 (0.38)	55 (0.12)	10 (1.25)	55 (0.12)	
計 (小児科定点当たり人数)	18 (9.00)	70 (9.83)	208 (17.36)	22 (6.80)	29 (14.00)	93 (17.85)	440 (13.83)			58,183	907 (28.76)	58,183	
前週 (小児科定点当たり人数)	19 (9.25)	89 (12.26)	199 (16.96)	35 (11.53)	40 (20.00)	85 (16.65)		464 (14.94)					

注 ()は定点当たり人数。

高知県感染症情報(58定点医療機関)定点当たり人数

定点名	疾病名	保健所	第2週					計	前週	全国(1週)	高知県(2週未累計)		全国(1週未累計)
			安芸	中央東	高知市	中央西	須崎				幡多	H28/1/4～H28/1/17	
インフルエンザ	インフルエンザ		0.27	1.19	0.80	0.50	0.25	0.63	0.44	2.02	1.06	2.02	
小児科	咽頭結核熱			0.18				0.07	0.07	0.54	0.13	0.54	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.50	1.14	3.18	1.00	0.50	1.20	1.93	1.77	2.16	3.70	2.16	
	感染性胃腸炎	6.50	6.14	10.18	2.33	12.00	14.80	9.10	9.97	7.74	19.07	7.74	
	水痘			0.18	0.33	1.00	1.20	0.37	0.50	0.87	0.87	0.87	
	手足口病									0.05		0.05	
	伝染性紅斑		0.14	0.09	0.33			0.10	0.27	0.83	0.37	0.83	
	突発性発疹		0.29	0.27	0.67			0.23	0.23	0.39	0.47	0.39	
	百日咳								0.03	0.01	0.03	0.01	
	ヘルパンギーナ									0.01		0.01	
	流行性耳下腺炎		0.71	1.27	0.67			0.70	0.73	1.20	1.43	1.20	
RSウイルス感染症		1.14	0.82	0.67		0.40	0.70	0.93	1.16	1.63	1.16		
眼科	急性出血性結膜炎									0.01		0.01	
	流行性角結膜炎									1.01		1.01	
基幹	細菌性髄膜炎									0.02		0.02	
	無菌性髄膜炎			0.20				0.13		0.03	0.13	0.03	
	マイコプラズマ肺炎			0.40			3.00	0.63	0.75	0.91	1.38	0.91	
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)			0.20				0.13	0.25	0.02	0.38	0.02	
	感染性胃腸炎			1.40				0.88	0.38	0.12	1.25	0.12	
計 (小児科定点当たり人数)	9.00	9.83	17.36	6.80	14.00	17.85	13.83			28.76			
前週 (小児科定点当たり人数)	9.25	12.26	16.96	11.53	20.00	16.65		14.94					

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生研究所）
〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1（保健衛生総合庁舎2階）
TEL：088-821-4961 FAX：088-825-2869